

文化ビジネス通信

平成30年7月10日
長野県諏訪実業高等学校

SPH通信



3年目となる今年は、最終年度でまとめの年となります。2年目よりさらなる飛躍を目指し、地域の魅力をビジネスにつなげ、世界にも発信します。そしてFacebookも随時更新しています。「長野県諏訪実業高校文化ビジネス教育」で情報発信中です。

文化ビジネス研究

諏訪実業高校では2年生で学校設定科目「文化ビジネス研究」を商業科・会計情報科・服飾科の生徒全員が学びます。しかも、学びの形態は全科ミックスによる少人数講座を編成して、講座ごとのテーマに沿って学習を進めていきます。1年生の時に諏訪についての講演会を何回か聴いていますので、2年生は実際に外に出て企業の方々とも協力していきたいと思っています。

ノルウェー大使館訪問

6月12日 ノルウェー大使館訪問

「文化ビジネス研究」の講座の一つに「ノルウェーと諏訪の共同イベント」講座があります。4月からノルウェーについて調べてきて、ノルウェー大使館訪問に臨みました。グループに分かれ、KJ法によってノルウェーについて知っていることなどを出し合いました。その中で、生徒は「自然と工業化」「物価と税金」「男女平等社会」に着目し当日質問する内容を考えました。当日はトム参事官に対応していただき、説明を受けました。上記の3つの質問を軸に話が進みましたが、ノルウェーもすぐに国民の理解を得られたわけではなかったようです。そこでの大切なポイントは、自分たちの代だけではなく、自分たちの子どもや孫の代にどのような社会であってほしいかを考えて行動することである、と教えていただきました。



諏訪地域をノルウェー大使館の方々にも紹介しようと考え、諏訪の特徴的な産業である精密機械工業の技術を活かした精密コマを大東製作所様から提供いただき贈呈しました。非常に喜んでいただき、諏訪のことを少し理解いただけたいと思っています。



生徒の感想

- ・ ネットだけではわからないことを直接質問することができ、貴重な体験ができました。
- ・ 今後、諏訪地域にノルウェーの良い所を取り入れていくことができるように学習を進めていきたいと思いました。
- ・ 自分がどのように考えているのか、v 意思表示として挙手をする場面がありましたが、自分の意見を持つことの大切さを感じました。